

民間からの資金協力

国際交流基金は、企業、団体、個人など広く民間からの資金協力を仰いで国際文化交流事業を実施しています。ここでは2009年度時点での国際交流基金への寄附制度を紹介するとともに、同制度を通じて資金のご協力をいただいた法人、個人の方々、およびその協力により支援を受けた事業を紹介します。

1. 寄附の種類

[1] 一般寄附金

当基金の国際文化交流事業の経費の財源として活用します。

イ. 一般寄附金制度

法人、個人から、寄附の時期、金額とも任意で受け入れる寄附金です。2009年度に寄附をした法人および個人、ならびに寄附による実施事業例は次頁の「事業費への寄附者」「民間出えん金寄附者」「民間出えん金による支援事業」を参照してください。

(イ) 事業費への寄附

寄附金を受け入れた年度の事業経費として活用します。寄附者の希望により、実施事業の中から、寄附金を充当する事業を指定することも可能です。

(ロ) 基金(ファンド)への寄附(=民間出えん金)

寄附金を基金(ファンド)に組み入れ、その運用利息を毎年度の事業費として恒久的に活用します。

ロ. 会員制度

年会費として一定額の寄附金を受け入れ、受け入れた年度の事業経費として活用します。会員には、会員種類に応じて、出版物の配布や各種催し物への招待等の特典を提供しています。

(イ) 賛助会

企業、団体が対象。1口10万円(年額)で、普通会员(1~4口)と特別会員(5口以上)があります。2009年度の会員は次頁の「賛助会員」を参照してください。

(ロ) JFサポーターズクラブ(会員制度変更のため、JFサポーターズクラブは2010年1月31日をもって新規入会および継続手続きを停止しました)

個人、グループが対象。年会費はアソシエイト会員3,000円、アソシエイト学生会員2,000円、パートナー会員10,000円、グループ会員50,000円です。

[2] 特定寄附金

国内の企業や個人が国内外の国際文化交流事業を支援する場合に、特定公益増進法人である国際交流基金が、その支援資金を寄附金として受け入れ、対象事業への助成金として交付する制度です。本制度を利用することで、企業や個人は寄附金に対する税制上の優遇措置を受けることができます。

対象となる事業は、国際文化交流を目的とする人物交流、海外における日本研究や日本語教育、国際文化交流を目的とする公演・展示・セミナー等の催し等です。また、特定寄附金の受け入れは、

外部専門家で構成される審査委員会への諮問を経て決定します。2009年度の支援事業は次頁の「特定寄附金による支援事業」を参照してください。

2. 税制上の優遇措置

当基金は法人税法施行令第77条および所得税法施行令第217条により「公益の増進に著しく寄与する法人」(特定公益増進法人)に指定されており、上述の寄附は税制上の優遇措置の対象となります。

(1) 法人の場合

通常の寄附金とは別枠で、特定公益増進法人に対する寄附金の合計額と特別損金算入限度額とのいずれか少ない金額が損金に算入されます。寄附金の損金算入限度額は次の算式によります。

●通常の寄附金

$[資本金等の額 \times 当期の月数 / 12 \times 2.5 / 1,000 + 所得の金額 \times 2.5 / 100] \times 1/2$

●特定公益増進法人に対する寄附金(特別損金算入限度額)

$[資本金等の額 \times 当期の月数 / 12 \times 2.5 / 1,000 + 所得の金額 \times 5 / 100] \times 1/2$

(2) 個人の場合

所得の40%を上限として、寄附の合計金額から2千円を差し引いた金額が所得控除の対象となります。相続財産からの寄附についても、税制上の優遇措置があります。

3. 2009年度寄附金額実績

| | 件数 | 金額 |
|-----------|------|------------------|
| 一般寄附金 | 436件 | 24,298,575円 |
| 事業費への寄附 | 13件 | 13,008,575円 |
| 民間出えん金 | 1件 | 130,000円 |
| 賛助会 | 50件 | 9,500,000円 |
| サポーターズクラブ | 372件 | 1,660,000円 |
| 特定寄附金 | 54件 | 484,049,046円(注1) |

(注1) うち、468,489,046円および2008年度より繰越した特定寄附金26,300,000円を、26事業(次頁「特定寄附金による支援事業」参照)に対する助成金として交付しました。残額(41,860,000円)は、7件の事業に対する助成金として2010年度に交付予定です。

(注2) なお、当基金設立以来2009年度末までの累計で、一般寄附金として24億3,997万円、特定寄附金として653億2,853万円を受け入れています。

2009年度の寄附者や寄附金による事業一覧

事業費への寄附者（敬称略）

| | |
|------------------------------------|---|
| 「日本ハンガリー協力フォーラム」日本語教育促進事業に対する寄附 | 住友化学(株) |
| 「四川大地震被災地の子供たち支援・交流プロジェクト」事業に対する寄附 | 三菱UFJ証券従業員組合 |
| 「第53回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展」事業に対する寄附 | (株)資生堂／(学)女子美術大学／ (財)直島福武美術館財団／(株)ベネッセコーポレーション |
| 「バルカン室内管弦楽団公演」事業に対する寄附 | 東京杉並ロータリークラブ会員 31名／企業1社 |
| 北京外交学院への図書寄贈事業に対する寄附 | 個人1名 |
| 事業全般への寄附 | 大垣市立江並中学校／個人3名 |

民間出えん金寄附者

個人1名

民間出えん金による支援事業（寄附者の意向に基づき特別事業を設定し、事業名に寄附者の名を付する「冠寄附」の例）

| 冠寄附事業名 | 寄附者および事業内容 |
|--------------------|---|
| 内田奨学金フェローシップ | 寄附者は内田元亨氏（故人）。米国・欧州等の若手音楽家等を日本に招へいし、日本の著名な音楽関係者等と交流し、共演、共同制作に従事する機会を提供。2009年度は米国から1名のフェローを招へい |
| 高砂熱学工業・日本研究フェローシップ | 寄附者は高砂熱学工業株式会社。東南アジアの日本研究振興のために、同地域の若手日本研究者に訪日研究の機会を提供。2009年度はベトナムから2名のフェローを招へい |
| 開高健記念アジア作家招へい講演会 | 寄附者は開高初子氏、開高道子氏（作家開高健氏のご遺族、いずれも故人）。日本に紹介されることの少ないアジア文学の紹介と、文学関係者の交流促進のため、アジアから作家・文学関係者を日本に招へいし、各地で講演会や意見交換を行った。2009年度のウティット・ヘーナムーン氏（タイ）招へいをもって事業を終了 |
| 「渡辺健基金」図書寄贈 | 寄附者は渡辺行信氏（米国研修中に事故で逝去された元外務省職員渡辺健氏のご遺族）。中国天津社会科学院に日本研究のための図書を寄贈。2009年度は204冊の図書を寄贈 |

賛助会会員（2009年度末現在、50音順、敬称略）

[1] 特別会員

松竹(株)／電源開発(株)／(株)みずほ銀行／(株)三菱東京UFJ銀行

[2] 普通会員

(財)池坊華道会／出光興産(株)／(株)印象社／ウシオ電機(株)
 (財)裏千家今日庵／(財)NHKインターナショナル／
 カトーレック(株)／(株)関西アーバン銀行／(株)紀伊國屋書店
 共栄火災海上保険(株)／(株)講談社／講談社インターナショナル(株)
 (財)講道館／(社)国際交流サービス協会
 (株)国際サービス・エージェンシー／(学)駒澤大学
 (株)桜映画社／(株)資生堂／(株)ジャパンエコー社／
 (社)出版文化国際交流会／(財)少林寺拳法連盟
 スターレーン航空サービス(株)／(財)全日本剣道連盟
 第一生命保険相互会社／(株)第一成和事務所／ダイキン工業(株)
 大和証券キャピタル・マーケット(株)／(株)電通
 東京ビジネスサービス(株)／日興コーディアル証券(株)
 (社)日本映画製作者連盟／(株)日本折紙協会
 (財)日本国際協力センター／野村證券(株)
 野村證券(株)新宿支店／パナソニック(株)
 (株)美術出版サービスセンター／(株)日立製作所
 富士ゼロックス(株)／(株)凡人社／みずほ証券(株)
 (株)三井住友銀行／三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
 (株)明治書院ホールディングス／森ビル(株)

特定寄附金による支援事業（）内は事業実施国

日米交流財団フェローシッププログラム(米国)
 ロータリー国際親善奨学支援事業2件(米国、日本)
 「故石川吉右衛門教授記念・比較日本法基金」の設立(米国)
 ウェスタンミシガン大学曾我道敏日本センター宛基金増資事業(米国)
 日米研究インスティテュート(米国)
 ミシガン大学ロー・スクール日本法研究プログラム(米国)
 コロンビア・ロー・スクール日米交流事業(米国)
 コロンビア・ロー・スクール日本法研究奨学金(米国)
 デューク・ロー・スクール日本法・文化プログラム(米国)
 ジャパン・リターン・プログラム2008年日本語サミット(日本)
 ジャパン・リターン・プログラム2009年日本語サミット・ニッポン新発見塾(日本)
 エルエスエイチアジア奨学金(日本)
 ドイツ社団法人日本語普及センター日本語教育事業(ドイツ)
 2009年日本・ハンガリー国交回復50周年記念事業(ハンガリー)
 2010年トルコにおける日本年(トルコ)
 日韓交流おまつり2009(日本)
 ミュージック・フロム・ジャパン創立35周年記念音楽祭(米国)
 四天王寺ワツ(日本)
 第16回ホノルルフェスティバル(米国)
 メコンフェスティバル2009(日本)
 日本音楽紹介ラジオ番組制作事業(中国)
 アジア女子大学2件(バングラデシュ)
 日中平和友好条約締結30周年記念「南京・平和友好桜花園」建設事業(中国)
 日英博覧会日本庭園修復事業(英国)